

## アンケートご協力をお願い

日頃から、本市の高齢者保健福祉行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

横浜市では、横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画の改定に際し、3年に1度、地域ケアプラザの皆様の御意見をお伺いする調査を実施しています。

この調査の結果につきましては、高齢者保健福祉施策を検討する際の重要な基礎資料となりますので、業務ご多用のところお手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力を賜りますようお願いいたします。

調査の回答については、12月8日(月)までにご回答くださいますよう、併せて御協力をお願いいたします。

なお、調査報告に関する秘密が保持されることと、個々の施設ごとの調査結果を公表するものではなく、サービスごとの横浜市全体の集計結果を公表する予定であることを申し添えます。

### 貴地域ケアプラザについてお伺いします。

問1 地域ケアプラザ名等をご記入ください。

貴ケアプラザ名	
---------	--

問2 令和7年10月末時点の現職種（他地域ケアプラザでの勤務を含む）の職員の勤続年数はどのくらいですか。該当する各職員の「職種」、「勤続年数」を下表①にそれぞれ番号でお答えください。（複数配置している職種については、下の表②③④の方にお答えください）

① 勤続年数 職種 (○をお付けください)	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8
生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8
地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8

（複数配置（2人目以降）の場合は下記欄にご記入ください）

② 勤続年数 職種 (○をお付けください)	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8
生活支援コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8
地域活動交流コーディネーター	1	2	3	4	5	6	7	8

③ 勤続年数 職種 (○をお付けください)	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8

④ 勤続年数 職種 (○をお付けください)	6か月未満	6か月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
社会福祉士等	1	2	3	4	5	6	7	8
保健師等	1	2	3	4	5	6	7	8
主任ケアマネジャー等	1	2	3	4	5	6	7	8

問3 スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1. すでに受け入れている             | 4. 必要ではない |
| 2. 活用に向けて検討している           | 5. わからない  |
| 3. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない |           |

問4 スポットワーク等（短時間・単発の就労や有償ボランティア）について、どのようなイメージを持っていますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 柔軟に人材を確保できる | 5. 人材の質にばらつきがある                |
| 2. 急な欠員に対応できる  | 6. 教育・研修に時間がかかる                |
| 3. 採用コストを抑えられる | 7. 職員との連携や利用者とのコミュニケーションが取りづらい |
| 4. 働き方改革につながる  | 8. イメージがわからない                  |

問5 貴施設で採用しているスポットワーク等の働き方について教えてください。

（あてはまるものすべてに○）

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 直接雇用の短時間勤務者 | 5. 雇用仲介アプリを使ったスキマバイト    |
| 2. 直接雇用の単発バイト  | 6. ギグワーク（業務委託契約した単発の仕事） |
| 3. 人材派遣        | 7. その他（ ）               |
| 4. 有償ボランティア    | 8. スポットワーク等を活用していない     |

問6『介護助手』の受入れについてどのように考えていますか。（○はひとつ）

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1. すでに受け入れている     | 4. 必要だと思うが、具体的な検討などはしていない |
| 2. 受け入れる準備をしている   | 5. 必要ではない                 |
| 3. 受け入れるかの検討をしている | 6. わからない                  |

地域包括支援センターの業務についてお伺いします。

問7 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務の課題と考えることは何ですか。（○は3つまで）

- |   |
|---|
| 1. 利用者に介護予防を理解してもらうのが困難                   |
| 2. 委託を受ける居宅介護支援事業者が少ない／無い                 |
| 3. 介護予防支援の指定を受けている居宅介護支援事業所が少ない／無い        |
| 4. 認定結果が出る前の暫定プランが立てにくい（作業後に要介護となった場合無報酬） |
| 5. インフォーマルサービスが不足している                     |
| 6. 介護予防プランを作成するための知識・技術を習得する機会が不足している     |
| 7. 委託先のケアマネジャーが作成したケアプランへの指導がしにくい         |
| 8. 委託先のケアマネジャーが介護予防を理解していない               |
| 9. サービス提供事業者がみつからない                       |
| 10. その他（ ）                                |
| 11. 特になし                                  |

**問 8 総合相談・支援業務の課題と考えることは何ですか。（○は3つまで）**

1. 地域包括支援センターの存在・役割が利用者・高齢者に十分に周知されていない
2. 三職種（社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等）間の連携
3. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携
4. 制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない
5. 制度改正が複雑・頻繁なことから、職員の習熟度を上げるのが困難
6. 日曜日・祝日の相談件数が少ない（窓口を空ける必要性に乏しい）
7. 行政からの情報提供が少なく、伝達が体系化されていない
8. 業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない
9. 区役所からのケース引継ぎが不十分である
10. その他（）
11. 特になし

**問 9 権利擁護業務について、成年後見制度の利用を促進するためにはどのようなことが必要だと思いますか。（該当するもの上位3つまで○をつけてください）**

1. 講演会・出前講座等での市民への周知
2. 支援者（事業所の職員）への研修
3. 成年後見制度・高齢者や障害者虐待等に関する相談機関の充実
4. 司法・福祉・医療などの連携体制の強化
5. 本人・親族申立ての支援
6. 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行支援
7. 成年後見制度の利用に関する助成制度の拡充
8. 市民後見人について、市民や関係機関への周知
9. 警察や消防等の公的機関、銀行や郵便局等の金融機関、電車やタクシー等の交通機関、地域の商業施設など、身近な生活にかかわる事業者とのネットワーク構築
10. その他（）
11. 特になし

**問 10 包括的・継続的ケアマネジメント支援の課題と考えることは何ですか。（○は3つまで）**

1. 地域連携の成功事例の蓄積、相互の情報提供が少なく、参考にできるものが少ない
2. 診療所医師との関係づくり
3. 歯科医師との関係づくり
4. 薬剤師との関係づくり
5. 病院の医療ソーシャルワーカーとの関係づくり
6. 在宅医療連携拠点との関係づくり
7. ケアマネジャーから相談を受けた際にヒントを与えられるような知識・経験が少ない
8. 地域のインフォーマルサービスの開発支援・育成支援・連携支援の知識・経験が少ない
9. 介護・福祉にとどまらない地域課題の解決に向けた知識・経験が少ない
10. 担当圏域内の要援護者情報や既存の社会資源の情報が不足している
11. 三職種（社会福祉士等・保健師等・主任ケアマネジャー等）間の連携
12. 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターとの連携
13. その他（ ）
14. 特になし

**問 11 これまでに実施した包括的・継続的ケアマネジメント支援は何ですか。（あてはまるものすべてに○）**

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 居宅介護支援事業所への訪問        | 9. 関係機関の意見交換会の場の設定       |
| 2. ケアマネジャーのニーズ把握        | 10. 関係機関との情報共有のためのルールづくり |
| 3. 現任ケアマネジャー向け研修会等      | 11. ケアマネジャー同士のネットワーク構築   |
| 4. 新任・就労予定ケアマネジャー向け研修会等 | 12. プラン立案・振り返りの相談支援      |
| 5. 医師会・診療所医師へのアプローチ     | 13. 地域の社会資源マップの作成        |
| 6. 医療ソーシャルワーカーへのアプローチ   | 14. サービス担当者会議開催支援        |
| 7. ボランティア団体・NPO等へのアプローチ | 15. 事例検討会（困難事例を含む）       |
| 8. 在宅医療連携拠点へのアプローチ      | 16. その他（ ）               |

**問 12 保険外の活動やサービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。**

（あてはまるものすべてに○）

- |                                     |                         |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流） | 9. 生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など） |
| 2. 通いの場への送迎                         | 10. 話し相手                |
| 3. 医療機関・福祉施設・役所への送迎                 | 11. 訪問による理美容            |
| 4. 医療機関・福祉施設・役所への送迎前後の付き添い          | 12. 歯科などの訪問診療           |
| 5. 栄養改善を目的とした配食                     | 13. 介護等が必要になった場合の住宅改造   |
| 6. 見守り・安否確認                         | 14. 紙おむつの購入             |
| 7. 緊急時の通報システム                       | 15. その他（ ）              |
| 8. ごみ出し                             | 16. 特になし                |

問 13 地域の住民活動や介護保険外のサービス等に関する地域資源を共有するために活用しているものがあれば教えてください。（あてはまるものすべてに○）

1. ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ	7. 自治会・町内会との情報交換
2. ふくしらべ	8. 民生委員・児童委員との情報交換
3. 居宅介護支援事業所との情報交換	9. 区役所との情報交換
4. 市社会福祉協議会との情報交換	10. その他（ ）
5. 区社会福祉協議会との情報交換	11. 特に活用しているものはない
6. 地区社会福祉協議会との情報交換	

問 14 区役所の社会福祉職・保健師に期待することは何ですか。（あてはまるものすべてに○）  
また、選択した「期待すること」について、区がその役割を果たしていると思いますか。

	期待すること (あてはまるものすべてに○)	「期待すること」で○を付けた項目について、 下記にお答えください（○はひとつ）			
		十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	あまり果たしているとは思えない	果たしているとは思わない
①支援困難事例への対応	1 ⇒	1	2	3	4
②ケースカンファレンス	1 ⇒	1	2	3	4
③苦情相談への対応	1 ⇒	1	2	3	4
④介護保険以外のサービスや制度の利用	1 ⇒	1	2	3	4
⑤介護保険法で判断に困るとき	1 ⇒	1	2	3	4
⑥医療・健康状態などの相談・助言	1 ⇒	1	2	3	4
⑦虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑧精神疾患の方への対応	1 ⇒	1	2	3	4
⑨地域課題の解決に向けた地域ケア会議の支援	1 ⇒	1	2	3	4
⑩その他 (具体的に )	1 ⇒	1	2	3	4

問 15 所管する圏域を営業エリアとする居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、その業務を適切に行っていると思いますか。次の各項目についてお答えください。（それぞれあてはまる番号に○はひとつ）

	十分行っている と思う	まあまあ行っている と思う	あまり行っていない と思われる	行っていない と思われる
①自立支援・重度化予防の理念の理解とケアプランへの反映	1	2	3	4
②サービス担当者会議の開催による利用者・家族等との 目標の共有化及びケアプランへの反映	1	2	3	4
③地域のインフォーマルサービスを取り入れるための情報収集や利用 のための調整	1	2	3	4
④介護保険以外の公的サービスについての情報収集及び必要に応じた ケアプランへの反映	1	2	3	4
⑤医療との連携	1	2	3	4
⑥主治医（医療機関）と情報の共有化	1	2	3	4
⑦地域包括支援センターとの連携	1	2	3	4
⑧制度に関する情報収集や、資質向上のための研修への 積極的な取組	1	2	3	4
⑨利用者が要支援認定を受けた場合に利用者に係る必要な情報を介護 予防支援事業所に提供する	1	2	3	4
⑩特定の居宅介護サービスを位置付けない等利用者によるサービスの 選択に資する情報提供の実施	1	2	3	4
⑪利用者からの苦情の受付及び苦情解決に向けた適切な対応	1	2	3	4

### 地域包括ケアシステムについてお伺いします。

問 16 今後の高齢社会の進展を踏まえ、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいます。

地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて優先度の高いと思う課題は何ですか。（○は2つまで）

1. 多様な在宅介護サービスを提供できる事業所の整備 2. 介護従事者の人材確保 3. 医療・介護の連携を含む在宅医療体制の構築 4. 在宅医療人材の確保・育成 5. 介護予防に取り組む市民意識の醸成 6. 介護予防人材の育成及び支援 7. 多様な生活支援・サービスの提供 8. 高齢者のニーズに応じた施設や住まいの提供 9. 認知症への地域の理解 10. 高齢者の社会参加の機会の創出 11. 高齢者本人・家族の主体的な意思決定の支援 12. その他（ <span style="float: right;">)</span> 13. 特になし
---

## 地域ケア会議についてお伺いします。

問 17 地域ケア会議を開催して得られる効果は何ですか。  
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、○は3つまで)

	① 個別ケース	② 包括レベル
1. 個別課題の解決やそのための気づき	1	1
2. ケースの自立支援に資するケアマネジメントの検討ができる	2	2
3. 医療と介護のネットワーク構築	3	3
4. 地域住民、団体とのネットワーク構築	4	4
5. 地域課題の把握、明確化	5	5
6. 社会資源の開発	6	6
7. 他の専門的な職種から意見がきける	7	7
8. 地域住民から意見が聞ける	8	8
9. 個別ケースその他 ( )	9	
10. 包括レベルその他 ( )		

問 18 現時点で、地域ケア会議（個別ケース、包括レベル）で課題に思うことは何ですか。  
(個別ケース、包括レベルそれぞれ、○は3つまで)

	① 個別ケース	② 包括レベル
1. テーマの選定が難しい	1	1
2. 会議の事前準備の調整（出席者への依頼、出席者への説明等）が難しい	2	2
3. 会議の運営・進行が難しい	3	3
4. 課題の共有までで終わってしまい解決策の提案に至らない	4	4
5. 会議後の役割をどう分担してよいかわからない	5	5
6. 会議後の課題解決策の実践について評価ができていない	6	6
7. 個別ケース検討結果で得た課題を蓄積、分析し、地域課題として抽出することが難しい	7	7
8. 参加者のケア会議に対する理解が不足している	8	8
9. ケア会議の開催目的が共有できていない	9	9
10. 事例検討会との違いがわからない（見いだせない）	10	10
11. 必要な専門職の参加が不足している	11	11
12. 自立支援に資するケアマネジメントの検討ができていない	12	12
13. 個別ケースその他 (具体的に )	13	
14. 包括レベルその他 (具体的に )		



**認知症事業についてお伺いします。**

**問 19 認知症に関してどのような取組を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）**

1. 認知症予防の講座の開催	7. 成年後見制度や権利擁護に関する講演会等の開催
2. 認知症に関する相談会等の開催 （総合相談以外）	8. 介護者のつどい・家族の会等の介護者に対する支援
3. 認知症サポーター養成講座の開催	9. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり
4. 認知症キャラバン・メイトの支援	10. 若年性認知症の人への支援
5. 包括エリアネットワーク構築のための連絡会の開催	11. その他（ ）
6. 地域のネットワーク構築のための事業への参加	12. 特になし

**問 20 横浜市の認知症施策について、今後充実が必要と思うものは何ですか。（○は3つまで）**

1. 認知症予防	9. 家族が認知症の理解を深めるための支援
2. 早期発見のための取組	10. 介護者のつどい・家族の会等
3. 相談窓口	11. 認知症の人や家族等のための交流の場や居場所づくり
4. 認知症を専門に行う医療機関情報	12. 見守りや話し相手等のインフォーマルサービス
5. 専門医の訪問診療	13. 若年性認知症の人への支援
6. 認知症症状悪化時の緊急入院対応	14. その他（ ）
7. 合併症がある認知症の人の入院対応	15. 特になし
8. 地域住民の認知症に対する正しい理解の普及	

**ご協力ありがとうございました。**